



川岸地区の整備を進めています

市の東部に位置する川岸地区は、住宅が密集しているほか、行き止まり道路なども多く、防災上や居住環境の面でさまざまな課題を抱えています。これらの問題を解決するために市が進めている、川岸地区における取り組みを紹介します。

■問い合わせ まちづくり区画整理室(内線366)

川岸地区では **建物** **道路(経路)** **公園・広場** の**3本柱**で災害に備えるまちづくりを進めています!

1 災害に強い建物づくり

【課題】

- ・住宅が密集して立ち並んでいる
- ・火災に弱い木造住宅や古い住宅が建っている

【解決に向けた取り組み】

- ・老朽化し、防災上危険な住宅などの建て替えの促進
- ・建築時における、火災に強い建物づくりへの誘導



ルールに沿った災害に強い建物づくりの促進に取り組んでいます!

2 有事の際に人や緊急車両が通り抜けられる経路づくり

【課題】

- ・東西方向の道路が少なく、行き止まり道路が多いなど災害時にスムーズに避難できない恐れがある
- ・火災発生時に消防車が通行できないなど、消火活動に支障をきたす恐れがある

【解決に向けた取り組み】

有事の際に緊急車両などが円滑に対応できる経路の整備



通り抜けできる緊急経路の増設に取り組んでいます!

3 防災機能を持つ公園・広場づくり

【課題】

開けた空間や身近な防災拠点が少ない

【解決に向けた取り組み】

火災時の延焼防止や一時避難場所としての機能を兼ね備えた公園・広場の整備



平時には憩いの場として利用され、有事の際には空間的、機能的に地区の防災に役立つ公園・広場を整備しました!

例1 川岸みんなの広場

開けたスペースに加え、かまどスツールやトイレスツールなどの防災設備などを備えた広場です。



災害時に活躍する設備をチェック!

- かまどスツール：座面を取り外し、薪をくべて使います。



- トイレスツール：座面を取り外し、中の便座とテントを組み立てて使います。



例2 川岸さつき通り広場

令和6年4月に開設された広場です。普段は市民が集う憩いの場となりますが、有事の際には緊急車両が通り抜けられることもできます。



災害に備えるまちづくりを知ろう! / 「かわぎし防災さんぽDAY」を開催します



公園のベンチがトイレに? クイズラリーをしながら、普段使っている広場の“新たな一面”を見てみませんか。

クイズラリー参加者にはいつでも携帯できる「LEDライト付きFMポケットラジオ」を、先着300人にはお菓子をプレゼントします。

と き：7月6日(土)、午前11時～午後3時 ※予備日：7月7日(日)
と ころ：川岸地区内の公園・広場、さつき通り(当日通行止め区間あり)

